

防音型高圧洗浄機

**SEIWA**  
OPE-MAN/1513DPN+/1702

# ジェットクリーン

型 式： JC-1014DPN+/JC-1513DPN+  
JC-1513DPNS+/JC-1612DPN+  
JC-1513Compac  
JC-1516GP/JC-1518GP  
JC-2014GP/JC-830GP

## 【取扱説明書】



ご使用前にこの「取扱説明書」をよく読み正しく  
お使いください。誤った取り扱いは機械の故障や  
大変な事故につながります。  
機械を操作する前にいつでも見られるように大切に  
保管してください。



この度は **SEIWA** 「ジェットクリーン DPN+・Compac・GP」 を  
 ご選定いただきまして厚くお礼申し上げます。

- 当機のご使用に際しては、この取扱説明書を熟読していただき、安全にご使用ください。
- 品質、性能向上または安全上、部品の変更を行う事がありますが、その際は本書の内容と一部異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 不明な点やお気付きのことがございましたら、お買いあげ店、最寄りの弊社営業所にお問い合わせください。

△印付きの下記のマークは安全上、特に重要な項目ですので必ずお守りください。

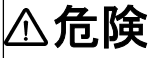

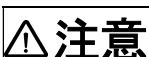

△ <b>危険</b>	適切な事前注意をとらないと <b>死亡又は重傷を負う危険性</b> が大きいことを示します。
△ <b>警告</b>	適切な事前注意をとらないと <b>死亡又は重傷を負う可能性</b> があることを示します。
△ <b>注意</b>	適切な事前注意をとらないと <b>傷害又は製品の重大な損傷を招く可能性</b> があることを示します。
📖 <b>留意</b>	製品の使用上の留意点や参考となる事柄を示します。

## 目 次

安全のために	1~2
1, 使用上の注意 (安全にご使用いただくために)	3
2, 仕様諸元表	4~6
3, 各部名称・機能及び基本操作	7
4, 作業操作手順	8~10
4-1 オイル点検	8~9
4-2 燃料の給油	10
4-3 付属品の取り付け	10
4-4 エンジンの始動	11~
4-5 作業開始	12
4-6 停止	12
4-7 終了	12
5, トラブル対策	13
6, メンテナンスサイクル表	14
7, 警告ラベル貼付位置	15

## 安全のために

△印付きの下記のマークは安全上、特に重要な項目ですので必ずお守りください。

 <b>危険</b>	適切な事前注意をとらないと <b>死亡又は重傷を負う危険性</b> が大きいことを示します。
 <b>警告</b>	適切な事前注意をとらないと <b>死亡又は重傷を負う可能性</b> があることを示します。
 <b>注意</b>	適切な事前注意をとらないと <b>傷害又は製品の重大な損傷を招く可能性</b> があることを示します。
 <b>留意</b>	製品の使用上の留意点や参考となる事柄を示します。

### △ 警告

- 噴出口に指や手を当てたり、のぞき込んだり絶対にしないでください。
- 人体に向けて絶対に、洗浄ガンの引き金を引かないでください。
- 洗浄ホースを強く引っ張ったり無理に曲げたりしないでください。又、外観に深いキズが付いていたり、折れ曲がったりつぶれたりしているホースは破裂して水が噴き出す恐れがあり危険ですので使用しないでください。
- 引火性、爆発性ガスのある場所では使用しないでください。火災や爆発事故につながり危険です。
- 風通しの悪い場所、排気ガスがこもる場所では使用しないでください。有害な一酸化炭素がたまり、ガス中毒の危険があります。
- 火災防止や、エンジンの排気が十分されるために、使用中は建物及びその他の設備から2m以上離してください。(車載使用厳禁)
- ガソリンの給油をする時は、エンジンを必ず止め、タバコ・たき火等周囲に火気が無い事を確認してから始動させてください。
- ガソリン給油後は、タンクキャップを確実に閉めて下さい。緩んでいると運転中にガソリンがこぼれ、気化したガスによって引火する恐れがあります。
- バッテリーケーブルをはずして運転すると端子部から火花が発生し火災につながる恐れがあります。バッテリーが消耗しても、ケーブルを取外して運転することは絶対にしないでください。

## △ 注意

- ランスのグリップは動かないようしっかり固定してください。
- 洗浄ガンを片手で持って引金を引かないでください。
- グリップと洗浄ガンは両手でしっかり支えてください。
- 洗浄ガン、及びランスを取外す時は必ず本機の運転を止めてから行なってください。
- 安全の為、洗浄作業を行わない時は必ず安全ロックをしてください。
- 安定した足場で使用してください。
- エンジン停止後はホース内に圧力が残っています。使用後は必ず洗浄ガンの引金を引いて残圧を逃してください。
- 安全ロックの効かないものや、引金が戻らないもの、及び接続部分より漏れが発生するものは使用しないでください。
- お子様など関係者以外は近づけないでください。誤った操作やいたずらにより思わぬ事故を招きます。
- 機械は水平な所へ設置してください。本体が傾いているとオイルセンサーが働きエンジンがかからなくなります。又、車輪は動き出さないよう固定してください。急な傾斜地でのご使用はオイルが最高油面でも適切な潤滑ができず、焼きつきトラブル発生する可能性があります。
- 直射日光の当たる場所に設置して運転すると、エンジンが止まることがあります。又、内部温度が上がり事故や故障の原因となる事がありますので必ず風通しの良い日陰に設置してください。
- 運転中、直後のポンプ、エンジン、マフラー付近は高温になります。ヤケドを負う危険がありますので手を触れないでください。
- 再始動をスムーズにする為に、作業中断時(休憩時)は扉類を開放し、内部の放熱を行なってください。
- エンジン・ポンプオイルは必ず規定時間で交換ください。規定量入っていても劣化したオイルは潤滑性が無く焼きつきなどの原因となります。
- アンローダーのストッパーは調整済みです。修理以外は動かさないでください。尚、規定以上に上げてご使用されますと故障の原因となるばかりではなく、大変危険です。
- ポンプの空運転(水を吸わない状態での運転)はしないでください。パッキンが著しく磨耗します。又、空運転後に吸水するとヒートショックによりプランジャーが破損します。
- 酸、アルカリの使用は避けて下さい。
- 研磨剂的な作用をする液体の使用はポンプの寿命を著しく短くしますのでご注意ください。又、異物混入防止のため、吸水ホースには、吸水フィルターを必ず取付けてご使用ください。
- ポンプ使用限界水温は40℃までです。それ以上高い温度の液体を使用しますと、ポンプの早期損傷につながります。

## 1 使用上の注意(安全にご使用いただくために)

### ⚠ 警告

#### ▶ ガソリンの給油

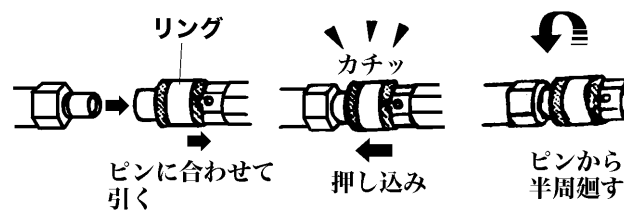
- エンジンを必ず止め、タバコ、たき火など周囲の火気が無いことを確認し、こぼれないようにゆっくりと給油してください。こぼれた場合はきれいに拭き取り、完全に乾いてから始動させてください。
- ガソリン給油後は、タンクキャップを確実に閉めてください。ゆるんでいると運転中ガソリンがこぼれ、気化したガスにより引火する恐れがあります。

### ⚠ 警告

#### ▶ 高圧力に注意

- 安全のため洗浄作業を行わない時は、必ず安全ロックをしてください。

- 洗浄ガン、あるいはランスを取り外す時は必ず、本機の運転を止めてから行ってください。又、取り付けの際はカプラを『カチッ』と音がするまで押し込み、リングを半周ほど廻して簡単に外れないようにしてください。



### 👉 留意

通常一般家庭で使用している水道水の水圧は0.2～0.3MPa程度ですが本機によって噴出される水圧は10～20MPaと非常に高い圧力がかかります。洗浄能力に優れる反面、警告に従わないと大変なケガを負うことになります。警告指示に従って正しくご使用ください。

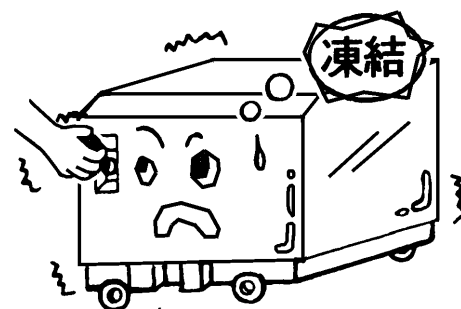
#### ▶ 使用しない時や移動の時

- 必ずガソリンコックを閉めてください。タンク内のガソリンがエンジン内部に流れ込み、始動できなくなることがあります。この場合、キャブレター掃除やエンジンオイル交換が必要になります。
- エンジンの取扱いについて詳しくは別冊(同梱)の「エンジン取扱説明書」をご覧ください。

#### ▶ 凍結

- 凍結が考えられる場合は使用後、不凍液を吸わせておくか水抜きを行ってください。ポンプ内の水抜きを行う場合は、ホースを外し軽くスターターキーを回すのも一つの方法です。始動前に凍結していないかどうか点検し、万一凍結の場合は、解凍するまで暖かい所へ置いて自然解凍を行ってください。

**点検方法:** 軽くリコイルスターターを引いてみて、固くて引けなかったり、途中で引っかかる感じがある場合は凍結の可能性がります。



## 2 仕様諸元表

型 式		JC-1014DPN+	JC-1513DPN+	JC-1513DPNS+
方 式		三連プランジャー		
ポンプ	圧力制御方式	背圧式アンローダー		
	最高圧力	10MPa	15MPa	15MPa
	総水量(L/min)	14	13	13
	オイル量(L)	0.3		
エンジン	名称・型式	GB181LN		
	定格出力/最大出力	4.7/6.3PS		
	始動方式	リコイル(ミラクルスタート)	セル・リコイルスターター両用	
	使用燃料	無鉛ガソリン		
	燃料タンク容量	8L		
	オイル量 上限/下限	0.6/0.4		
全体	寸法 L×W×H(mm)	544×508×580		
	乾燥重量(kg)	49		54
標準セット内容		ゴムホース(9M)30m ノズル 1562	ゴムホース(9M)30m ノズル 1549	ゴムホース(9M)30m ノズル 1549
		洗浄ガン P31-0・ホースドラム HD-60・ランス LC-4・工具一式・吸水ホース 1/2 余水ホース 3/8・ストレーナー・クリアフィルター・エンジン/ジェットクリーン取扱説明書		

## 2 仕様諸元表

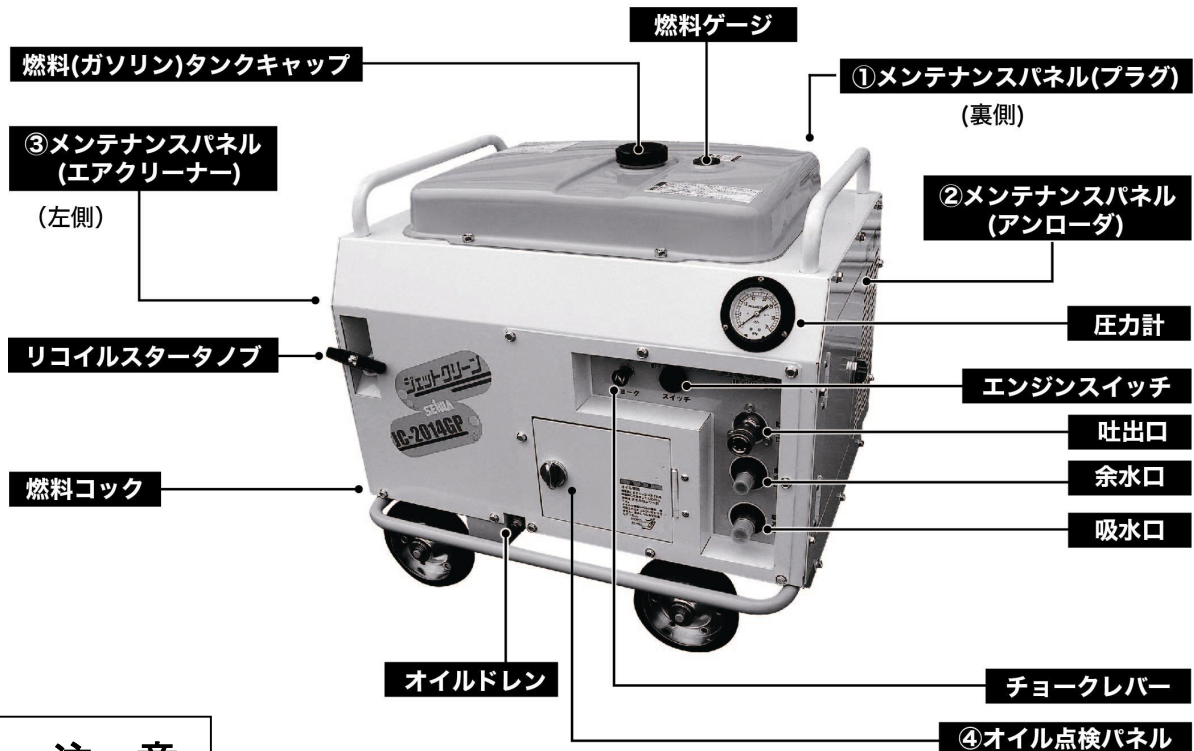
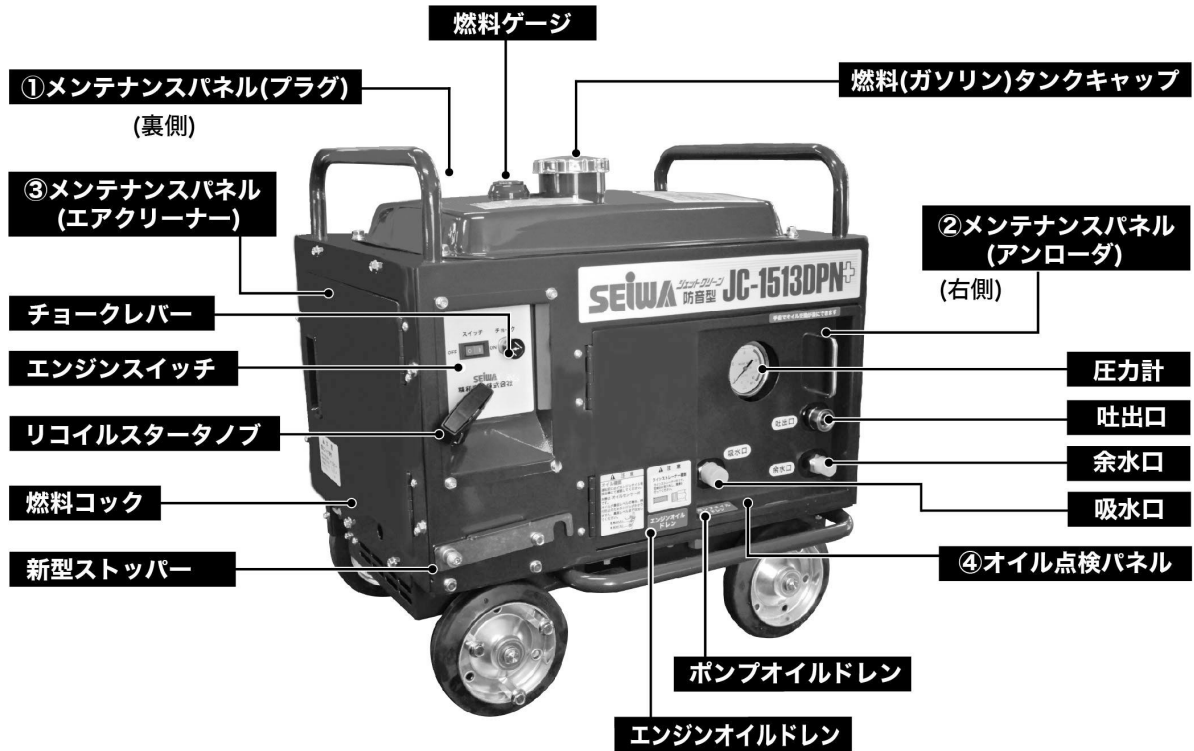
型 式		JC-1612DPN+	JC-1513Compac	JC-1516GP
方 式		三連プランジャー		
ポンプ	圧力制御方式	背圧式アンローダー		
	最高圧力	16MPa	15 MPa	15MPa
	総水量(L/min)	12	13	16
	オイル量(L)	0.3	0.3	0.45
エンジン	名称・型式	GB181LN		GB300LE
	定格出力/最大出力	4.7/6.3PS		7.5/10.0PS
	始動方式	リコイル(ミラクルスタート)		セル・リコイル
	使用燃料	無鉛ガソリン		
	燃料タンク容量	8L		13L
	オイル量 上限/下限	0.6/0.4		1.2/0.5
全体	寸法 L×W×H(mm)	544×508×580	544×425×580	630×580×570
	乾燥重量(kg)	49		80
標準セット内容		ゴムホース(9M)30m ノズル 1543	ゴムホース(9M)30m ノズル 1549	ゴムホース(9H)30m ノズル 1556
		洗浄ガン P31-0・ホースドラム HD-60・ランス LC-4・工具一式・吸水ホース 1/2 余水ホース 3/8・ストレーナー・クリアフィルター・エンジン/ジェットクリーン取扱説明書		



## 2 仕様諸元表

型 式		JC-1518GP	JC-2014GP	JC-830GP
方 式		三連プランジャー		
ポンプ	圧力制御方式	背圧式アンローダー		
	最高圧力	15MPa	20MPa	8MPa
	総水量(L/min)	18	14	30
	オイル量(L)	0.45		
エンジン	名称・型式	GB300LE		
	定格出力/最大出力	7.5/10.0PS		
	始動方式	セル・リコイル		
	使用燃料	無鉛ガソリン		
	燃料タンク容量	13L		
	オイル量 上限/下限	1.2/0.5		
全体	寸法 L×W×H(mm)	630×580×570	660×577×570	
	乾燥重量(kg)	80		
標準セット内容		ゴムホース(9M)30m ノズル 1568	ゴムホース(9M)30m ノズル 1543	ゴムホース(9H)30m ノズル 1515
		洗浄ガン P31-0・ホースドラム HD-60・ランス LC-4・工具一式・吸水ホース 1/2 余水ホース 3/8・ストレーナー・クリアフィルター・エンジン/ジェットクリーン取扱説明書		

### 3 各部名称・機能及び、基本操作




#### ⚠ 注意

- 本機にはオイルセンサーが付いています。エンジンオイルが不足していたり機械を傾けて設置するとセンサーが働きエンジンがかかりません。オイルの量と設置方法を確認し、エンジンをかけて下さい。
- 本機は出荷の際適切な圧力に調節してあります。アンローダのストッパーリングをゆるめ、規定以上に圧力を上げる事は絶対にしないでください。

## 4 作業操作手順 / DPN+シリーズ

### 4-1


### オイル点検

 留意: オイル交換を怠ると機械の寿命が著しく縮みますので、継足しだけでなく必ず規定時間にて交換ください。

#### ポンプオイル(毎日点検)

●ポンプ上部にオイルゲージ棒がありますので、オイルを点検し、不足していたらガソリンエンジンオイル(10W-40)を入れてください。ポンプのドレンは本体下部にあります。

※ポンプオイルは初回50時間  
2回目以降は200時間毎に交換してください


 留意: オイルが暖かいうちに抜くときれいに抜く事ができますが火傷には十分ご注意ください。

#### エンジンオイル(毎日点検)

●メンテナンスパネル(オイル点検)を開き行ってください。不足しているときはガソリンエンジンオイル(10W-40)を入れてください。不足しているとオイルセンサーが作動し、エンジンがかかりません。

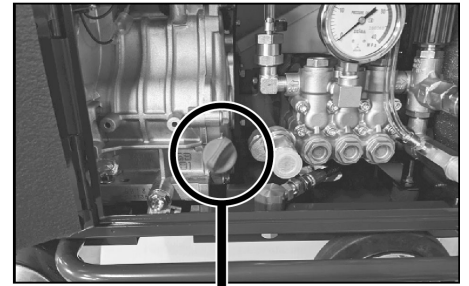
●エンジンオイルドレンコックは、オイル点検パネルの下部にあります。

※エンジンオイルは初回50時間  
2回目以降は100時間毎に交換してください

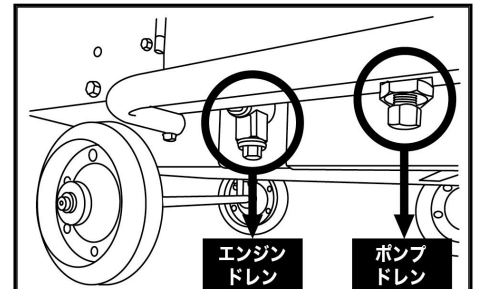
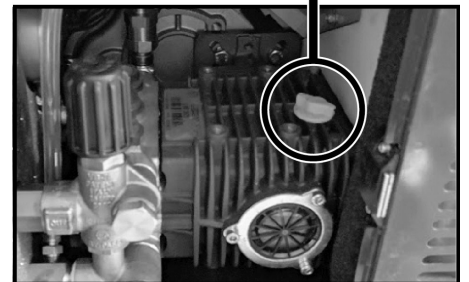
 留意: オイルが暖かいうちに抜くときれいに抜く事ができますが火傷には十分ご注意ください。

「お願い」

オイルは、徐々に蒸発しますので、オイル口すり切り一杯に入れてくださる様をお願いします。中に空気をまきこむと泡がでて完全に入らない事もあります。時々オイルの追加入れをしてください。



オイル給油口



エンジン  
ドレン

ポンプ  
ドレン

高圧洗淨機・推奨オイル

エンジン



4サイクル用  
エンジンオイル



ポンプ

次のいずれかのオイルを使用して下さい。

◎セワ純正ジェットクリーンオイル  
1ℓ缶 標準価格 ¥2,000

○SAE#30~40(又は10w-40)  
→ガソリンスタンドや、カー用品専門店で  
購入できます。




※オイルは、各メーカーによって違います。故障や、トラブルの原因になりますので、必ずご使用のメーカーが推薦するオイルを使用して下さい。

## 4 作業操作手順 / GP シリーズ

### 4-1


### オイル点検

 留意: オイル交換を怠ると機械の寿命が著しく縮みますので、  
継足しだけでなく必ず規定時間にて交換ください。

#### ポンプオイル(毎日点検)

●ポンプ上部にオイルゲージ棒がありますので、  
オイルを点検し、不足していたらガソリン  
エンジンオイル(10W-40)を入れてください。  
ポンプのドレンは本体下部(ポンプ真下)のゴムグロメット  
をはずした所にあります。

※ポンプオイルは初回50時間  
2回目以降は200時間毎に交換してください


 留意: オイルが暖かいうちに抜くときれいに抜く事ができますが  
火傷には十分ご注意ください。

#### エンジンオイル(毎日点検)

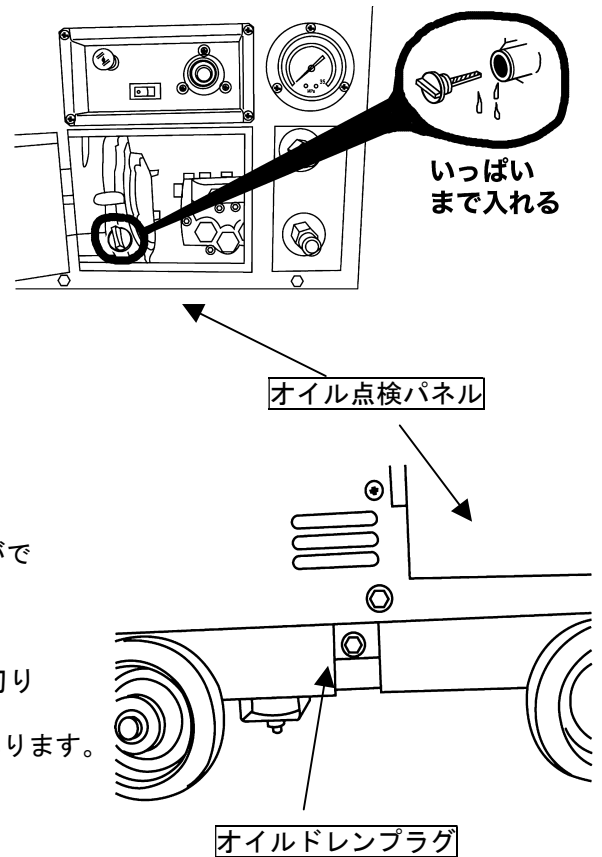
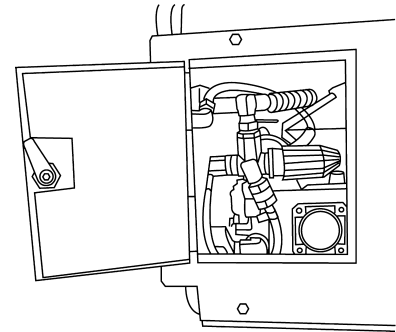
●メンテナンスパネル(オイル点検)を開け、行って  
ください。不足しているときはガソリンエンジン  
オイル(10W-40)を入れてください。不足していると  
オイルセンサーが作動し、エンジンがかかりませ  
ん。

●エンジンオイルドレンプラグは、オイル点検パネ  
ルの下部にあります。

※エンジンオイルは初回50時間  
2回目以降は100時間毎に交換してください

 留意: オイルが暖かいうちに抜くときれいに抜く事がで  
きますが火傷には十分ご注意ください。

「お願い」  
オイルは、徐々に蒸発しますので、オイル口すり切り  
一杯にいれてくださる様にお願いします。  
中に空気をまきこむと泡がでて完全に入らない事もあります。  
時々オイルの追加入れをしてください。



高圧洗淨機・推奨オイル

エンジン

4サイクル用  
エンジンオイル

ポンプ

次のいずれかのオイルを使用して下さい。

◎セワ純正ジェットクリーンオイル  
1ℓ缶 標準価格 ¥2,000

○SAE #30~40(又は10w-40)  
→ガソリンスタンドや、カー用品専門店で  
購入できます。



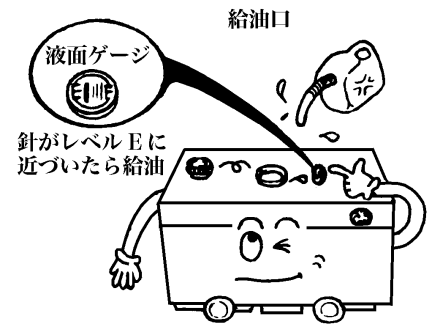
※オイルは、各メーカーによって違います。故障や、トラブ  
ルの原因になりますので、必ずご使用のメーカーが推薦す  
るオイルを使用して下さい。

## 4-2 燃料の給油

●本体上面に液面ゲージが付いています。ガソリンが入っているかを確認し、入っていない場合は給油してください。

- ⚠️ ◆こぼれた時はきれいに拭き取ってください。
- ◆燃料キャップはしっかり締めてください。
- ◆給油口には必ずフィルターを取付けて給油してください

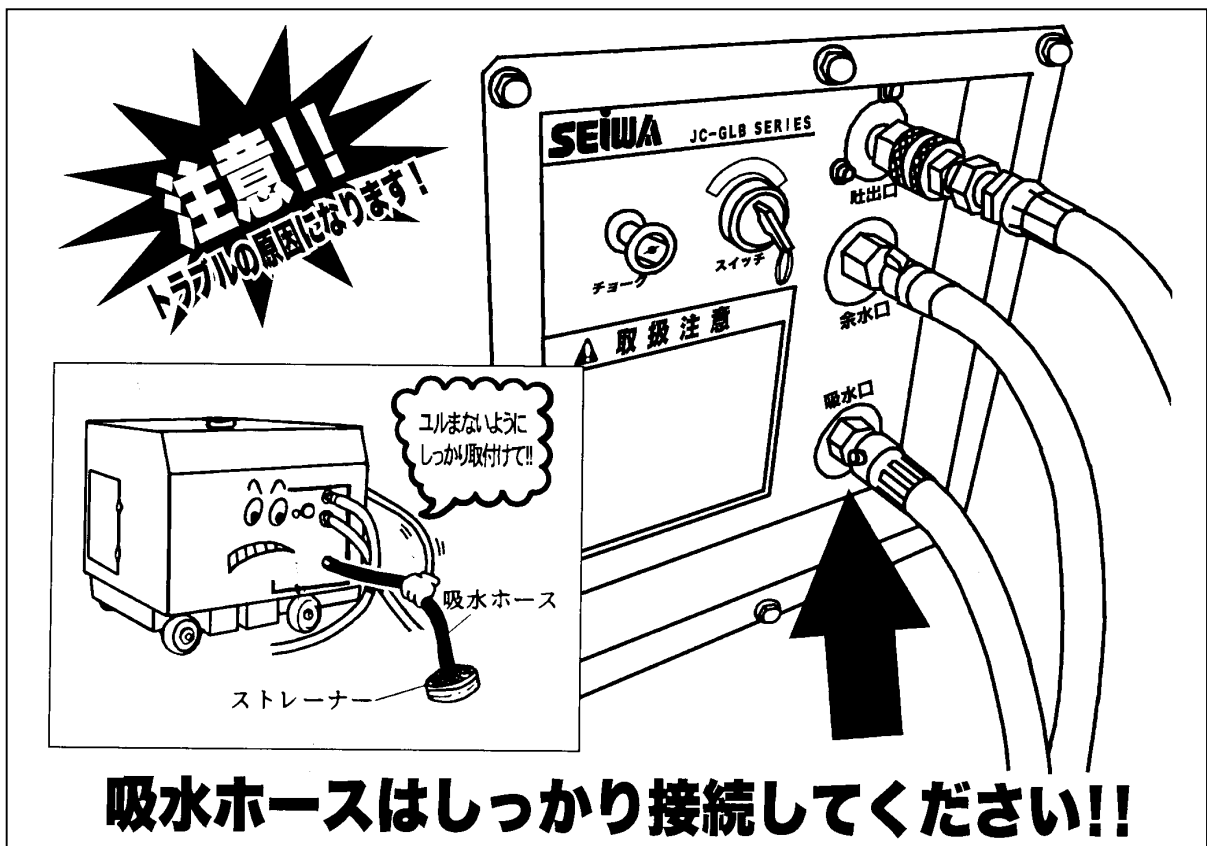
👉 留意: 燃料は常にいっぱいにしておくことで結露による水分発生、タンクの錆びが発生しにくくなります。



## 4-3 付属品の取り付け

⚠️ 吸水ホースには必ずストレーナーを取付けてください。  
ゴミの吸込みは弁の早期摩耗や吸込み不良の原因になります。

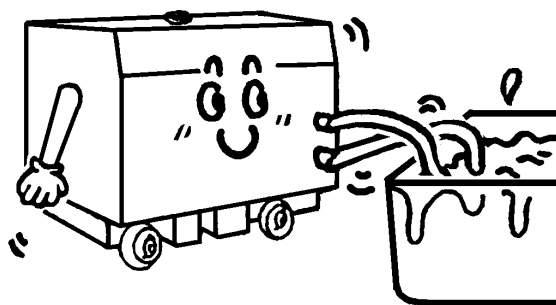
⚠️ 吸水ホースの取付けがしっかりと出来ていない場合、  
作業中に振動等でゆるみ、トラブルの原因となることがあります。



**吸水ホースはしっかり接続してください!!**

## 4-4 エンジンの始動


1, 水の入った水槽の中に吸水、余水ホースを入れます。

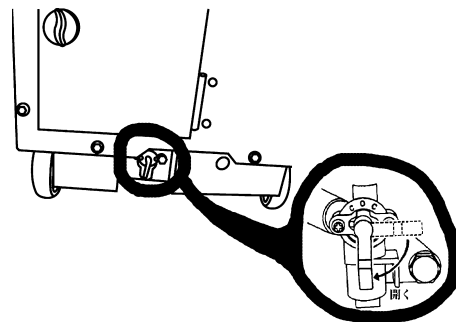


2, エンジンの始動


①燃料コックを開きます。

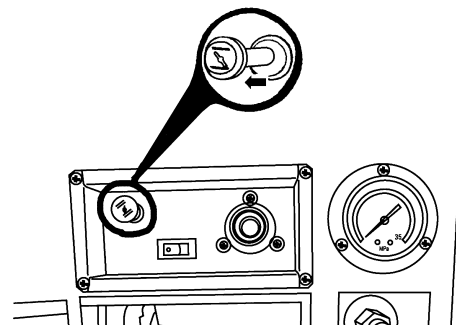
※2014GPはメンテナンスパネルを開いて操作して下さい。

 留意: カップに水やごみが入っていたらカップをはずして捨ててください。その際、コック部にあるフィルターは無くさないようご注意ください。



②チョークを引きます。

 留意: 初回始動時はいっぱいまで引いてください。再始動時(エンジンが暖まっている時)は半分くらい引いて下さい。5回以上リコイルを引いてもかからない場合はいったんチョークを戻してリコイルを引いて下さい。




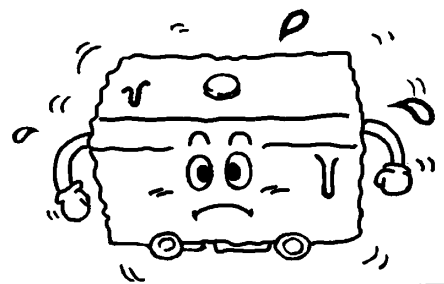
③エンジンスイッチを「ON」にしてリコイルスターターを引いて始動させます。

※セル付の場合はキースイッチをスタート(始動)にするとエンジンがかかります。かかったら手を放とONにもどります。(1回に5秒以上回さないでください。バッテリーが著しく消耗するばかりでなく発熱によりケーブルが焼ける可能性があります。) かからない場合はいったん戻してひと呼吸おき、もう一度スタートにしてください。

※1014、1513GPにはミラクルスタートが搭載されています。スタートグリップをゆっくりひいて下さい。(通常のリコイルのような引っ張りスピードは不要です。)

④エンジン始動後5分間は暖機運転を行ってください。(この時、余水ホースから水が戻っているか確認してください。)

 カラ運転は、ポンプの早期摩耗につながります。



## 4-5 作業開始

- 1, ガンを引くとノズルから高圧の水が噴射されます。  
高圧力の注意を守り洗浄開始してください。

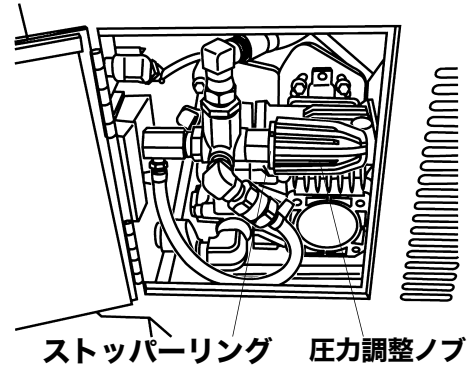
⚠ 作業を中断する時は、ガンの安全ロックをしてください。

👉 留意: 作業中断(休憩)時は扉類を開放して内部の放熱をしておくと再始動がスムーズに行なえます

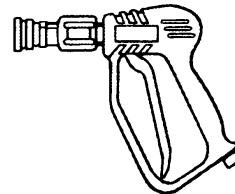
- 2, 圧力調整は本体内部のアンローダーで行えます。  
メンテナンスパネル(アンローダ)を開け、アンローダノブを廻して調整してください。

しめる⇒「高圧」 ゆるめる⇒「低圧」

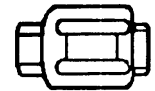
⚠ ストッパーリングは最高圧力位置で固定されています。  
この範囲内で圧力調整を行ってください。  
ストッパーリングは絶対にゆるめないでください。  
事故や故障の原因になります。



手元にて噴射部の圧力調整を行いたい場合は、  
別売り付属品の[フローガン(P28F-0)]又は  
[フローレギュレータ(FR-0)]をご使用ください。



フローガン (P28F-0)



フローレギュレーター (FR-0)

## 4-6 停止

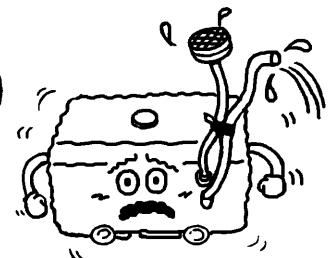
- 1, 無負荷の(ガンの引き金を戻した)状態で2~3分程度  
運転した後、吸水ホースを水槽から抜き出し、ガン  
を引いて吸水ホース、及びポンプ内の水を抜いてく  
ださい。

⚠ 急停止は機械の寿命を著しく縮めます。又、アフター  
バーナーが発生し危険です。

⚠ 水を抜いた後、2分以上の空運転は避けてください。  
パッキンの異常摩耗の原因になります。  
又、空運転後に吸水しますとヒートショックによる  
プランジャー割れの原因となります。



禁止



2分間以上は×!!

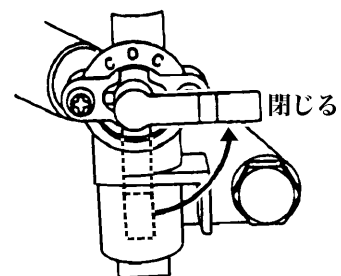
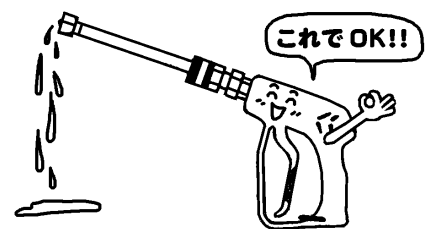
## 4-7 終了

- 2, エンジンスイッチを「OFF」にしてエンジンを  
止めてください。

⚠ エンジン停止後も洗浄ホース内には圧力がかかっ  
ています。洗浄ガンの引金を引き、ホース内の  
残圧を抜いてください。

● 作業終了後本機を移動するときは、必ず燃料コック  
を閉じてください。

⚠ コックを開いたまま移動させますとオーバーフローにより  
ガソリンがこぼれたりエンジンの内部に侵入し、次回使用が  
できなくなるばかりでなく、大変危険です。



## 5 トラブル対策

故障はできるだけ早期に発見して適切な対策をとることが大切です。現場トラブルは80%以上が吸入弁、アンローダーの砂、ゴミ詰まりです。次の表を参考に処置してください。修理不能な場合は弊社営業所、又はお買い上げいただいた販売店までご連絡ください。エンジンにつきましては別冊「エンジン取扱説明書」をご覧ください。

現 象	原 因	対 策
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポンプを回しても全く水が出ない</li> <li>・高圧ホースを外した状態でも水が出ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●吸水ホースの締め付け不良、又はパッキン不良</li> <li>●吸水ホースの穴あき</li> <li>●ポンプ弁(吸入弁・吐出弁)のゴミ詰まり、又はひっかかり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★増締め、又はパッキン交換</li> <li>★交換(テープ等で応対処置)</li> <li>★吸水口から強制的に水道水を勢いよく流し込む、又はバルブ分解洗浄</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・規定の圧力が出ない</li> <li>・圧力が低い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●アンローダー弁の作動不良(ゴミによる場合が多い)</li> <li>●ノズルの摩耗、又はサイズの不適</li> <li>●ポンプ弁、弁座、アンローダー弁の摩耗</li> <li>●ピストンパッキンの摩耗</li> <li>●圧力計の劣化</li> <li>●吸水フィルターのゴミ詰まり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●分解して洗浄</li> <li>★ノズル交換 〔ノズルは約100時間で摩耗のため圧力に影響します。〕</li> <li>●交換</li> <li>●交換</li> <li>●交換</li> <li>★分解・洗浄</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・圧力が変動する</li> <li>・ホースに振動が発生する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●吸水フィルターのゴミ詰まり</li> <li>●吸水ホースの締め付け不良又は、パッキン不良及び穴あき</li> <li>●ポンプ弁、アンローダー弁へのゴミ引っかけ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★分解・洗浄</li> <li>★増締め、パッキンの交換</li> <li>★吸水口から強制的に水道水を勢いよく流し込む、又はバルブ分解洗浄</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・エンジンがかからない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●燃料切れ・水混入</li> <li>●燃料コックが閉じている</li> <li>●エンジンオイル劣化、不足(オイルセンサーが作動)</li> <li>●庫内温の上がりすぎ(使用停止後)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ガソリンを入れる、交換をする</li> <li>★燃料コックを開ける</li> <li>★オイルを入れる、交換する</li> <li>★扉を開けてしばらく放置し庫内が冷えてからかける</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業中エンジンがストップする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●エンジンオイル不足によるセンサー作動</li> <li>●酸欠によるパワーダウン</li> <li>●庫内温又は燃温の上がりすぎ</li> <li>● 排熱部品の破損</li> <li>● 燃料に水が混入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★エンジンオイルを入れる、交換する</li> <li>★換気、風通しの良い所で使用 〔炎天下、極端に温度の高い場所換気の悪い場所での使用は避ける〕</li> <li>●部品交換、修理</li> <li>★水抜き、燃料交換をする</li> </ul>

表中の★印は、トラブル時現場対応が可能な対策です。  
長期保管(2ヶ月以上)の際の方法

- ・ 燃料コックを閉じガス欠させてください。
- ・ タンク内の燃料は燃料コックから全て抜いてください。
- ・ キャブレター内の燃料は燃料ドレンより全て抜いてください。
- ・ 点火プラグをはずしてシリンダ内にエンジンオイルを少量(約10cc)注入しリコイルを数回まわした後、点火プラグをつけて圧縮のあるところまでまわして止めつけてください。
- ・ バッテリーの端子をはずし、ビニールテープなどを巻いて置くようにして下さい。(セル付きのみ)



## メンテナンスサイクル表

	内容	毎回	25H	50H	100H	200H	250H	500H
ポンプ	オイル点検、補給	○						
	吸水フィルター詰まり確認、清掃	○						
	配管締付、漏れ点検	○					●	
	各部締付点検(フランジ、フレーム等)			○			●	
	オイル交換			△		○		
	アンローダピストン、シート点検					●		
	パッキン類点検						●	
	バルブ点検							●
	ポンプ部ボルト、ナット締付点検	○						●
エンジン	各部ボルト、ナット締付	○					●	
	オイル点検、補給	○						
	燃料、オイル漏れ点検	○						
	エアクリーナ、リコイル周囲点検、清掃	○						
	オイル交換			△	○			
	燃料コック(フィルタ)点検、清掃			○				
	点火プラグ点検・清掃				●			
	バルブクリアランス点検・調整						●	
燃焼室のカーボン除去						●		

○:ご使用者様による作業

●:サービスマンによる作業

△:初回のみ

**オイル** エンジンオイル(JC オイルが最適です)

ガソリンエンジン用オイル SJ級以上

マルチグレード SAE:10W-30~40 (防音は 10W-40 が好ましい)

**ポンプオイル(JC オイルが最適です)**

・エンジンオイル

上記エンジンオイル

・ギヤオイル

API GL-4

# 警告ラベル貼付位置

**1**

**注意**

**オイルセンサー付**

作業中エンジンが停止した場合はオイルを補充してください。

**2**

**危険**

**火気厳禁**

- ・給油時エンジン停止。
- ・火災の危険あり。
- ・給油口に火を近づけないこと。KW5611GAA

無鉛ガソリン

**8**

**注意**

**燃料コック操作**

運転中や停止後は、燃料漏れ防止のため必ず燃料コックを閉じてください。

**3**

**警告**

**高圧力で噴射される水流は身体を傷つける危険があります。**

- 噴射されている水流を手や体に当てたり、人体に向けてください。
- エンジン停止後ホース内に圧力が残っています。

使用後は必ず洗浄ガンの引き金を引いて、残圧を逃がしてください。

**注意**

- 浄水、河川等不純物を含んだ水は使用しないでください。
- 2分以上の空運転は避けてください。
- 寒冷時は凍結防止のため、水抜きを行ってください。

取扱説明書をよく読み、安全にお使いください。

**6**

**注意**

**オイル確認**

運転前に必ずエンジンオイルを注油棒にて確認してください。

本機は **オイルセンサー付** です。

オイルが最低レベルの場合、焼付防止のためエンジンがかかりません。最高レベルまで注油してください。

**7**

**注意**

**ラインストレーナー確認**

ラインストレーナー付です。定期的に取り外し、清掃を行ってください。



**裏側**

**4**

**注意**

エンジンが始動しないとき、又は急に止まるときは、次のことを確認してください。

**エンジンオイルの確認**

【オイルの潤り方】毎運転前にオイル量を確認して下さい。

※前回のオイル交換は必ず行うこと。オイル内に金属粉が蓄積するとオイルセンサーの誤作動によるトラブル発生の可能性があります。

**燃料ストレーナーの確認**

毎運転前に燃料ストレーナー内の沈殿物を排出してください。

① ネット スプレーノズル ポディ

② 結露による水混入時には、キャブレター内の水も排出してください。

ゴミ、異物、水の混入時は、必ず除去してください。

酸化器 燃料ドレン

**5**

**注意**

**火気厳禁**

- 給油は必ずエンジンを停止して行ってください。
- 燃料をこぼしたら確実にふき取ってください。
- エンジン給油口付近に火気を近づけないでください。
- 排気口付近に燃えやすい物を近づけないでください。
- 燃料は無鉛ガソリンを使用してください。

**機械設置場所の注意**

- 機械は平坦な場所に設置してください。
- 周囲の壁、障害物より2m以上離して設置してください。
- 機械下部の吸・排風口をふさぐと、エンジントラブルの原因になります。
- 軟弱地や雑草地等の場所で使用しないでください。

**オーバーヒートに注意**

- 直射日光下での使用は避けてください。エンジン停止等のトラブル発生の原因となります。
- スムーズな再始動のため、作業中断時は扉を開けて内部の放熱をしてください。

**指定オイル使用**

- エンジンオイルは、SAE10W-40を使用してください。

使用前に取り扱い説明書をよくお読みください。

**表側**



**9**

注意	警告	危険
マフラー高温注意	排ガスに注意	火気厳禁
さわるとやけどをするおそれがあります。KW56256AA	室内や換気の悪い所での運転は人体に有害で危険です。	・給油時エンジン停止 ・火災の危険あり。 ・給油口に火を近づけないこと。

**10**

**オイル交換時期**

**エンジンオイル:100 時間毎**

**洗浄ポンプオイル:200 時間毎**

**11**

**高温注意**

高温でヤケドします。触らないこと。

(裏側)

**12**

**ジェットクリーン**

型式 JC-1513DPN+

最大出力 6.3PS

ポンプ回転数 1800rpm

最大圧力 15MPa

総水量 13ℓ/min

製造 No.

SEIWA 精和産業株式会社

※警告ラベルは見えにくくなったら新しい物に貼り替えて、常に確認できるようにしてください。



運転開始前に必ず下記空欄に必要なことがらを記入して下さい。  
点検の時に大変役に立ちます。

項目	ご記入欄		
型式	JC-1014DPN+ JC-1513DPN+/DPNS+ JC-1612DPN+ JC-1516GP/JC1518GP JC-2014GP/JC-830GP	ご購入年月日	年 月 日 ( )
製造番号	No.	ご使用開始年月日	年 月 日 ( )
ご購入先	〒 ( ) TEL ( )		

## アフターサービスについて

### 保証規定

#### 1. 保証内容

お買い上げの日から1年の間に正常な使用状態にも関わらず弊社の責任に基づき故障が発生した場合は無償修理させていただきます。

#### 2. 適用除外 ●保証期間中でも下記の場合には適用いたしません。

- (1) 不当な修理や改造による故障、損傷。
- (2) お買い上げ後の落下などによる故障、損傷。
- (3) 火災、塩害、ガス害、地震、風水害、落雷、異常電圧およびその他の天災地変による故障、損傷。
- (4) 使用・取扱上の酷使、過失、手入れ不十分および外的損傷による故障、損傷。
- (5) ノズル、摺動部の摩耗およびパッキン等の消耗部品。
- (6) 注意事項および取扱説明書に記載した内容の範囲外の条件で使用した故障および損傷。
- (7) 書類に不当な字句訂正などがあった場合。

#### 3. 本書はお買い上げの納品書(納入日が記載されていることを確認)とともに大切に保管してください。

### ユーザー登録について

～保証対象の確認および、速やかな保証対応のために、機械購入時にユーザー登録をお願いしています～

同封の保証書に必要な事項をご記入いただき FAX いただくか、弊社ホームページ経由でも受付をしています。ホームページ経由でご登録いただけますと、ご購入いただいた商品のメンテナンス情報、関連する付属品、便利なオプション情報、新商品情報など、定期的に情報配信をさせていただきます。是非、この機会にご利用くださいますようお願いいたします。

- 登録場所／精和産業トップページ右側中段「機械ご購入者様用・保証書ユーザー登録」



<https://www.seiwa.com>

### 修理サービス

ここからも登録できます→

修理はお買い上げの販売店又は、弊社最寄りの営業所にご連絡ください。

## SEIWA 精和産業株式会社

浜松配送センター

〒432-8006 静岡県浜松市中央区大久保町1348  
TEL 053(485)6181 FAX 053(485)6180

仙台	981-1105	仙台市太白区西中田6-15-13	携帯	090-3212-9902
群馬	371-0854	群馬県前橋市大渡町1-8-6	携帯	080-1838-8248
東京	136-0072	江東区大島5-12-7	TEL	03-3638-6911
神奈川	242-0029	大和市上草柳8-28-18	携帯	090-7404-1915
名古屋	453-0839	名古屋市中村区長茂町4-15	携帯	080-1838-8248
大阪	547-0001	大阪市平野区加美北8-1-18	携帯	080-1838-8248
岡山	710-0841	倉敷市堀南606-1	携帯	090-8855-1690
福岡	816-0912	大野城市御笠川1-8-7	携帯	090-8855-1690
エス・ディー ツール	891-0175	鹿児島市桜ヶ丘2-22-10	携帯	090-2515-0068
塗機商事	903-0124	中頭郡西原町呉屋108-6	携帯	080-1794-4141